

## 平成 30 年度 第 2 回南箕輪村地域公共交通会議 会議録

日時：平成 30 年 11 月 22 日（木）

午後 1 時 30 分から

午後 2 時 35 分まで

場所：南箕輪村役場 2 階 講堂

出席者数：委員 20 名中 17 名

欠席委員：3 名（名和委員、白川委員、堀委員）

### 【進行 地域づくり推進課長】

#### 1 開 会（三澤副会長）

#### 2 あいさつ（会長：村長）

改めましてこんにちは。お急がしい中、地域公共交通会議にご出席をいただきましてありがとうございます。また、皆様方には日頃より交通システムを始めとして様々な分野で村政に御協力を賜っておりますことにお礼を申し上げます。本日の会議は 5 月に開催して以来 2 回目となります。1 回目の会議では、まっくんバス及び伊那本線の概要をご説明申し上げたところであり、また地区からのご要望もお聞きをしたところでございます。

まっくんバスにつきましては、本年 4 月から 75 歳以上は無料とさせていただきました。後ほど説明があらうかと思えますけれどもそれに伴いまして乗車人員も若干ではありますけれども増加をしているところでございます。本日は、事務局よりまっくんバスや伊那本線の上半期の運行状況をご説明申し上げますとともに、地区から様々なまっくんバスに対してのご要望をいただいております。このことにつきましては、後ほどご協議をお願いいたしますけれども、なかなか難しいなという側面が多いところでございます。これにつきましてはご議論の中でお話したいと思っておりますが、そう向こうにいかないうちにまっくんバス全体をどうしていくのか、あるいは交通体系をどうしていくのか、そんな議論をしていかなければなりません。全体を見直していかなければならないというふうには思っているところでございます。また、伊那バスの独自路線であります西箕輪線につきまして、伊那バスから赤字解消支援の申し出があります。この点につきましてもご協議をお願いいたします。この路線につきましては、かなり利用があるところであります。そういったことから伊那市でも支援をしながら存続をしてい

くということで、伊那市の地域公共交通協議会にも諮られたということでありま  
す。これは伊那市とも足並みを揃えながらいかざるを得ないというふうに思っ  
ているところでございます。生活の足を確保する交通システムの更なる充実に向け、  
それぞれのお立場から建設的な御意見を賜りますようお願いを申し上げまして、  
開会にあたりましてのあいさつとさせていただきます。

### 3 協議事項（進行：会長）

（資料に基づき、事務局より説明）

#### （１）南箕輪村巡回バス「まっくんバス」の運行状況について

平成 30 年度 10 月までの利用者は 7,912 人で昨年同月比 106%

利用促進策として実施している、75 歳以上の無料化及び無料乗り放題デーの  
効果が表れている。

なお、利用者の約半数程度が 75 歳以上の高齢者と推定される。

#### （２）伊那地域定住自立圏運行バスバス「伊那本線」の運行状況について

平成 30 年度 9 月までの利用者は 9,749 人。前年同月比で 2,368 人の増  
順調に利用者が伸びている。

伊那本線の利用促進として、高齢者向けお試し乗車券の配布及び無料乗り放題  
デーを実施

#### （３）まっくんバスルート等への要望について

地区等から寄せられた要望について、村としての対応案を提示

（別紙参照）

（会長）

事務局から説明を申し上げました。いろいろ検討をしてみたんですが、  
ご要望どおりというわけにはいかない部分もございます。特に神子柴の場合に  
つきましては、お気持ちは十分分かります。何とかしたいなということで考え  
ましたけれども、なかなか難しいという結論でございます。まっくんバスは 2  
台が巡回して回っております。時間的な部分、いくら時間がかかってもいいと  
いうことであれば、それはそれで何とかかなりそうかな、という面もあるわけ  
ありますけれども、1 便あたりの時間がかかなり延びているということになれば、  
これは利用者がかなり減ってしまうという状況もあります。そんな点もご理解  
いただきながらということでもありますけれども、ご要望ですので何とか考えて  
いかなければならない面もあるわけでございます。その点は村としても真剣に

捉えながら考えてまいります。ルート上にあるバス停につきましてはさほど時間的な影響がありませんので新設することは可能でございます。同時に使われていないバス停をどうするか、相対的に考えていく必要があるだろうというふうに思っているところでございます。資料に7か月間の利用状況も載っています、この辺も参考に見ていただきながらご意見をいただければと思います。

(神子柴区長 原委員)

神子柴区からは、以前から国道からあじーな、春日街道までの道を通して欲しいという要望があります。神子柴は伊那本線と今現在のバス停が全部かぶっておりまして、特に西へ行く路線がないということで、伊那本線はあじーなの方へは通っていないわけでありますので、あじーなの方へいく、あるいは大芝の方へ行くという形の路線をお願いしたいということです。

今、状況を聞きますと、道路が狭いというか、今のバスでは狭いということで、乗車状況を見ますと、今年度増えたといっても1便あたり3人ということですので、今のバスで本当にいいのかということも効率、効果を考えてもいいのではないかと思います。やはりもう少しコンパクトな形にして、効率や効果をあげるということも一つの策かなと感じています。そうした中で、住民の皆さんの要望にできるだけ対応できるように考えていただければと思います。また、勾配が急ということもあるんですが、村道ですので別の形の要望として考えていかなければならないのかなと思っています。

(会長)

はい。道路のことにつきましては、また別の形で考えていかざるを得ない面もあるかと思います。車体につきましては、以前も小さくということで検討しましたがけれども、高齢者が多いものですから、極端に狭い車というわけにもまいりませんので、その辺もご理解をいただきたいなと思っております。この辺はまた全体をどうしていくのかという中で、考えていく必要があると思います。神子柴からは、あじーなから下へおりてきて、途中でスイッチバックをしてまた上へ戻っていくという話もいただいたところであります。その場合は時間がかかってしまうということで、全体を見直す中でそういったことも考える必要があるんだろうなというふうに思っております。そうしますと15分程度さらに時間が延びてしまいますので、伊那養護学校とのからみもあり、あまり時間をとるわけにはいかないということもあります。当面は現状どおりとさせていただいて、全体を考える中でまた検討していきたいというふうに思います。

(大泉区長 唐澤委員)

4 番 5 番については、至極もったもだと思います。それから 6 番については、要望というよりは事務局へ検討をお願いした件ですので、(要望に対する回答を公表するような) 対応があれば、こうした意見がなかったかもしれませんので、ぜひやっていただければと思います。

(会長)

分かりました。周知はしっかりしていく必要があると思いますので、させていただきます。4 番 5 番はそんなことでお願いします。また、4 番の新設につきましては区長さんとまた話をさせていただきます。ルート上ですので時間的にはほとんど変わらないと思います。また 7 ページの表を見ていただきながら、ルート上であればあまり影響はありませんけれども、利用状況からみても廃止しても良いバス停等があればまたお願いしたいと思います。

神子柴の区長さん、神子柴東というバス停があります。このバス停は 7 か月で 17 人がお乗りになっていますけれども、これをやめるとスイッチバックをしても時間的にはそんなに変わりがないわけですが、時間がかかる問題ですけれども。

(神子柴区長 原委員)

特段まだ聞いてはいないですけれども、また難しいと思います。そうした話題が少し出ていますよということは話をしたいと思います。

(会長)

なくすとなるとなかなか難しいと思いますが、そうした話もしていかなければならないと思っています。神子柴東のバス停も何年も前に要望をいただいて設置をしたものですが、あまり利用がないということですので、その辺のことも絡めて考えていくことができるかなという思いはしております。

#### (4) 伊那バス路線「西箕輪線」の状況について

伊那バスより西箕輪線の運行について、支援要請あり。生活路線として独自に路線を維持してきたが、赤字運行が続いており、現状のままでは路線をしていくのが困難な状況である。そのため、南箕輪村及び伊那市へさらなる支援を要請する内容。

村の方針としては、西箕輪線は伊那養護学校への通学や村内から伊那市への直通便として利用されるなど生活路線として重要な役割を担っているため村も補助を行っている。路線の存続を前提に、運行日や運行本数の見直しも含めて、伊那市及び伊那バス(株)と協議に入る。

(会長)

本日は、伊那バスの社長さんが見えですので、何かありましたらお願いいたします。

(伊那バス 藤澤委員)

伊那バスの藤澤でございます。皆様には日頃よりバス事業を始めとしまして、弊社の事業について大変ご理解いただきまして厚く御礼を申し上げます。ただいまご説明をしていただきました件につきまして、改めてご説明をさせていただきます。

弊社の主たる事業でありますバス事業、とりわけ地域の定期バスの現状につきましては、免許人口の増加、人口減少等によりまして利用客の減少が続いております。また、バス業界に限らずいろいろな業界で働き手不足ということで言われておりますけれども、弊社におきましても働き手不足ということで運転手の確保にも努力しておりますが、なかなか実効があがらない現状でございます。このような状況でありますので、これまで不採算路線の赤字を埋めてきました貸切バスですとか、高速バスの増発便について運転手不足を大きな要因としまして、以前のように出して収益を上げることが難しい状況でございます。そんな中で、大きな赤字を抱えたまま弊社独自で従来どおり生活路線を維持することが大変困難な状況となってまいりました。弊社といたしましても、事業の性格上、経営の健全化をはかり、生活路線維持に努め、地域社会における公共の福祉に寄与する重大な使命が課されているということは十二分に認識しておりますけれども、このように経営状況を圧迫しております現状を改善することも弊社におきましては喫緊の課題であります。つきましては、西箕輪線につきましては従前より運行費の補助をいただいているわけでありましては従前より運行費の補助をいただいているわけでありましては、なお大きな赤字を抱えて運行しておりますので、多額の欠損が生じております現状を解消し、路線が維持できますよう欠損が生じないように運行費のご支援を賜りたいということでございます。なにとぞご理解・ご支援を賜りまして、経営の健全化を達成しまして、これからも長く地域の公共の福祉に寄与してまいりますようどうぞよろしくお願いいた

します。

(会長)

はい。伊那バス路線「西箕輪線」の状況につきましてご説明申し上げました。この路線につきましては、従来から伊那市と村で距離按分をしながら一部補助金を出して運行をしているところでございます。村の考え方は資料にお示しをしてあります。年間 33,000 人、まっくんバスの 1.5 倍くらい利用しているということでありますし、養護学校、中央病院、さらには本村におきましても沢尻、神子柴の部分に影響してまいりますので、ぜひ存続はしていきたいということであります。存続を前提にしながら、伊那市も存続ということでありますので、先ほど事務局が説明したように、伊那市と運行日とか運行本数を減らしながら、できるだけ持ち出しを若干少なくなればという考え方もありますので、その辺も含めて主体的には伊那市でありますけれども、伊那市と協議をさせていただきたいということで、今日の会議はそんなご了承もさせていただきたいということをお願いをいたします。まずは、ご質問等ありましたらお願いをいたします。

(特になし)

(会長)

それでは、なければこれにつきましては、伊那市が地域公共交通協議会の中で、存続を前提に南箕輪村と話をすることになっておりますので、本村の方針といたしましても、存続を前提に伊那市さんと話をしていくということでご了解をいただけますか。

(異議なし)

(会長)

ありがとうございました。それでは、こんな方向でこれから進めさせていただきたいと思います。議会につきましても、今日の村の公共交通会議の中で存続を前提に話をしていきたいということは了解をいただいているところでありますので、お願いをいたします。

(協議の結果は、委員さんに後日改めて報告することとなる。)

(5) その他

(伊那警察署 小池委員)

隣の箕輪町では、75 歳以上の方で免許証を自主返納された方については、伊那本線を利用される場合には町の方から半額を補助しているということで、実質無料というような話を伺ったんですが、南箕輪さんはどうですか。

(事務局)

伊那本線としましては、免許証の自主返納した方については、運賃を半額とするという共通のルールがあります。村としてはそれに上乗せした独自のメニューは用意しておりません。75 歳以上の方無料というのは、まっくんバスに関しては無料ですが、伊那本線に関しては適用されません。

(小池委員)

分かりました。利益を出さなければいけないというお話の中で大変恐縮なんですけれども、警察からのお願いでありまして、高齢化が進む中で、高齢者の方の事故が減らないといったところで、免許証の自主返納を進めていただいております。箕輪町さんでは、返納される方に 1 万円の補助金を助成されるということで、今年に入りまして非常に返納される方が、その影響だけではないと思いますが、増加しております。実質伊那本線も無料で乗れるという話ですので、今後もそうした取り組みもぜひ検討していただきまして、高齢者の方の事故防止にもご協力をいただければと思います。

(会長)

はい。実施要望も含めてという話でございます。十分検討させていただきたいと思います。できれば伊那市とも足並みをそろえられればなと思います。

(事務局)

南箕輪村でも、この 30 年 3 月まで 75 歳以上の高齢者の方が免許を自主返納した場合に、まっくんバスの回数券 1 万円分を交付する制度がありましたが、4 月から 75 歳以上の高齢者が全員無料となったことで、その制度はなくなっております。

## 6 その他

なし

## 7 閉 会（三澤副会長）